

ONE BRAND

◆ **ONE LOVE** INTERVIEW

オードリー

若林正恭

[お笑い芸人]

vol. **44**

ONE BRAND流 /

やっぴり
猫も好き。



／ ONE BRAND流 ／

やっぱり 猫も好き。



人にとって一番身近な動物、犬と猫。
犬と暮らす楽しさならたくさん知ってるけど、猫ってどうなの？
犬と猫と一緒に暮らすってどんな感じ？
そんな好奇心から、今回の特集テーマはなんと「猫」。
犬が大好きな『ONE BRAND』が、
猫と遊んで、たわむれて、猫の魅力を探ります。
犬猫と楽しく暮らすお宅も訪問しました。

撮影：晴山順平・初沢亜利

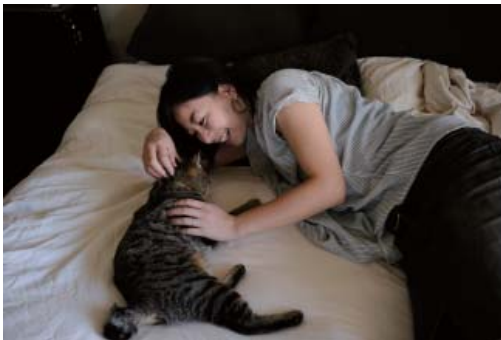




ONE BRAND
編集部が体験

イヌ好きによる、初めての「ねこ時間」

気まぐれ、奔放、ミステリアス……猫のイメージはいろいろあるけど、実際に確かめてみないと分からない！
そこで、大の犬好きが猫との暮らしを体験してみることに。そんな初めての「ねこ時間」をレポートします。



絶妙な甘えん坊っぷりを発揮する社長にメロメロ。



好奇心いっぱい。スーツケースの上だって遊び場に。



到着時はちょっと警戒。慎重に周囲をチェック。

編集部のRの家に猫と暮らす友人が連れてきてくれたのは、1歳の仲良し兄弟、社長とマイケル。「どっちも人なつこい性格だから、あんまり心配しないで大丈夫だよ」と、友人からの心強いアドバイス。なんでも、今まで人に向かって怒ったことは一度もなく、人と遊ぶのが好きで、抱っこされることも嫌がらないんだとか。とはいえ、猫は警戒心が特別に強いイメージ。「キャリーから出てこなかったらどうしよう」「飛び出したとたんにどこか隠れちゃったりして」そんな心配を抱えながらの、どきどきの初対面となりました。

ひょっこり顔を出した2頭。まずは周囲をキョロキョロ。そろりそろりと出てきて、さっそく探検のスタートです。音を立てない歩き方に「おお、猫だ！」と当たり前前感想を抱く取材チームをよそに、部屋中をくんくん。重心を低くして匂いをかぐ様子や、ぼんと棚の上に飛び乗る助走いらずのジャンプ、ひらりと着地する軽い身のこなしなど、猫ならではの動きは面白くて、美しく、いつまで見ても見飽きないかも、と感嘆してしまつほど。

しばらくしてスリスリと体を寄せさせてくれたのは社長。顔周りをなでると、目を細く閉じてご満悦の表情に。そのままごろんと寝転んで、すっかりゴキゲンです。そんな様子が気になるのか、家具の後ろに隠れていたマイケルもいつの間にか近くに。抱き上げるとじつと大人しく、こちらままんざらでもないようにほっとひと安心。

その後も、動くオモチャを華麗にハントしたり、コシヨコシヨなどでられて体をくねらせたり、名前を呼べば「いやあ」と挨拶したり、かと思えば、突然クー



人が近づいても逃げない猫スタッフたち。名ホストぶりにたちまち癒されモードです。

扉を開けた瞬間、目の前には20頭ほどの猫が入り交じってくつろぐ光景が。いきなりテンションが上がる面々。さっそくオモチャを駆使したり、話しかけたり、お目当ての猫を振り向かせようと必死！ さっきまで無関心だったくせに、突然ひざの上に乗って甘えられるというツンデレ体験もあり、すっかり夢中に。お店のスタッフさん曰く、ここにいるのは接客ができる猫たち。自由ではあるけど人見知りせず、家にいる猫とはやっぱりどこか違う雰囲気です。「お客様は猫に癒されに来る方がほとんど。猫カフェは心のほぐし屋さんです。犬を飼ってるけど猫も好きだから、という常連さんもいますよ。猫の飼い主さん同士で情報交換したり、猫を飼いたいという方にアドバイスすることもあります」と、交流の場にもなっているよう。お客さん同士の会話も弾み、さながら、猫と暮らす友人宅を訪れたようなリラックスした感覚に。新たな「ねこ時間」にとっぷり浸かって、すっかり癒されたのです。



常連さんにも人気だというご飯タイム。輪になっていっせいにモグモグする光景がかわいい。



「こっち向いてよ〜」入店直後ですでにデレデレ。思い通りにならないツレナイ態度もたまらない!?



猫まるカフェ East ●東京都墨田区錦糸 2-5-11 フナダビル 3階/営業時間：月～木曜 12:00-21:00、金曜 12:00-22:00、土曜 10:00-22:00、日・祝日 10:00-21:00、最終受付は閉店1時間前(祝日の前日は22:00まで)、不定休 ☎03-5608-8007 <http://nekomarucafe.com/east/>



純血種から和猫 Mix まで容姿も性格も個性豊か。お手入ればっちりの美猫たちが迎えてくれます。

ONE BRAND
編集部が体験

癒されスポット「ねこカフェ」デビュー もっとたくさん猫とたわむれるべく、いざ「ねこカフェ」へ。癒されると巷で人気のスポットに犬好きの取材チームが潜入です。

抱っこでお腹をナデナデ、満足顔のマイケル(右)と、ソファの上でおくつろぎ中の社長(左)。



物影からチラリ。はにかみ屋のマイケル。

ルに立ち去って窓辺で外を眺めたり。思いもよらない動きにあたふたしつつも、2頭が個性豊かに見せてくれた表情には驚きと発見がいっぱい。もしかして猫の魅力って、猫が猫であるすべてのことなのかも。猫がいる暮らしをほんの少し体験して感じたのは、そんな、とっても単純で、とっても当たり前のことでした。

下町をぶらり「ねこ町」散歩

猫たちの日常をのぞきに「ねこ町」として有名な谷根千(谷中、根津、千駄木)をぶらり。

車通りをひとつ裏に入れば細い路地が縦横に走り、東京の下町らしい雰囲気を残す谷根千エリア。ぶらぶらあてもなく歩いてみると、さっそく猫を発見。一軒家の軒先や塀の上、階段の途中、駐車場にも集会する猫たちが。人が通るには狭すぎる脇道がたくさんあって、まさに猫たちの格好の通り道になっているよう。道路の真ん中で堂々と寝転んでいたり、人にぎわう商店街でもすやすや眠る、そんな猫たちの姿はたくましくて、健気で、どこか懐かしくもあり、元気を分けてもらったような

楽しい気分。猫に話しかける人の姿も珍しくなく、路地をひとつ曲がるごとに感じる「猫フブ」な空気に、これまた、ほっこりです。
このエリアは看板猫が多くいることでも有名。谷中で見つけた喫茶店「ル・ブリーベ」には、ニーナ、タモン、ルンルの3頭が毎日気ままにご出勤。上階の自宅につながる専用の通路穴を通じて、自由に行ったり来たり。足元に猫を遊ばせゆっくりお茶を楽しむ、そんな絶妙なゆるく心地いいひと時に、気づけば長居になること必至かも!?



「こんにちは」路地裏でさっそく遭遇。



猫グッズを扱うお店が点在。



なでられて気持ち良さそう。



落ち葉をベッドに日向ぼっこ。ぜんぜん起きませんでした。



なにやら集まっていた猫たち。わらわらとおもむろに解散。



商店街では猫モチーフの美味しいおやつを発見。



谷中を歩けば猫にあたる!? あっちにもこっちにも猫。



喫茶『ル・ブリーベ』。猫用通路が店内に。



看板猫の人なつこいタモンくん。おそるおそるなでると、もふもふ、やわやわ、猫ならではの触り心地につい、しつこくナデナデ……。この後しっかり抱っこもさせてくれました。

犬と猫が日常

犬との暮らしに猫がいたらどうなるの？
向かった先は、犬猫暮らしを楽しむ國岡ちとせさんのお宅。
2頭のカンケイについて教えてくださいました。

ONE BRAND 流 /
やっぱり
猫も好き。



チェストの上はブリオのテリトリー。



犬と猫、ゲージも仲良く隣り合わせ。



見つめる視線の先はピコリのしっぽ!?

國岡ちとせ ● 「HappyLife with dog!」をテーマにしたオリジナルグッズショップ chikata の運営、ハンドメイドレッスン、ペットイベント・撮影のコーディネートを手掛ける。犬同伴 OK のカフェ、ギャラリー、ワークショップスペースなどを併設する「753 cafe/Shop/Gallery」を4月オープン予定。神奈川県横浜市緑区中山町 21-10 <http://chikata.babymilk.jp>

國岡さんと犬のピコリ(チワワ・オス5歳)との暮らしに猫のブリオ(ブリティッシュショートヘア・オス2歳)が仲間入りして、ほどなく1年。
「ブリオには別の飼い主さんがいたんですが、うちでしばらく預かることになって。預かってみると、意外にもどちらも平気そうにしていたこともあって、そのまま引き取るようになったんです」
「我関せず」なタイプというピコリは、チヨッカイスえ出されなければマイペースに過ごせる性格。一方、ブリオは人なつこく、犬もOKな社交家。昔から犬も猫も好きだった國岡さんは、ブリオとピコリの相性を見て「犬猫暮らしを叶えるなら今しかない!」と決断。最初のうちこそ距離感があった2頭も、今では自然体で仲良しの間柄。体格が同じくらいということもあり、よく一緒に遊ぶ。「オモチャを投げるとピコリが走って取りにいき、そのピコリのしっぽをブリオが追いかけてます(笑)」そんな光景はいつものこと。ピコリとブリオ、それぞれ違う形で國岡さんの元気の秘訣になつてくれているそう。

「お出かけできることは犬の楽しさですよ。散歩やアジリティ、一緒にひとつのことができるのはうれしいし、喜んでる姿を見ると、自分もがんばるうって思えてくるんです。猫は、いてくれるだけでいいよっていう感じ(笑)。存在が癒しというか。お出かけしないぶん、家の中で喜ぶことをできる限りしてあげたいって思います」
犬猫同居だからこそ新しい発見も。「教えてもないのに、ブリオがしつこく覚えて出したのでびっくりしました。私とピコリのやり取りをいつも見ているからだと思んですが、オスワリやハウスがいつの間にか出来るようになっていたんです。猫も教えればちゃんと出来るんだって新発見でしたね」
犬と猫の暮らしの物語、この先も新たな魅力がたくさん見つかりそうです。



いつか実現したい、犬と猫に囲まれた暮らし。

猫と暮らした経験があり、現在は愛犬の牛若丸と生活する小柳ゆきさん。犬と猫、それぞれの好きなところを聞きました。



ONE BRAND 流 / やっぱり猫も好き。

「YUKI KOYANAGI LIVE TOUR 2012」



2012年12月15日に舞浜アンフィシアターで開催されたLIVEがCD+DVD(2枚組)で3月27日(水)発売。また7月13日公開映画「爆心 長崎の空」の主題歌「ひまわり」が7月発売予定。



小柳ゆき●現役高校生シンガーとして「あなたのキスを数えましょう～You were mine～」で1999年デビュー。2004年に全シングル収録のベストアルバム「MY ALL」リリース。ディナーショーやイベント活動で、幅広い客層に歌声を届ける。
<http://www.yuki-koyanagi.jp/>

「犬は感情表現が豊かなところが分かりやすく、そこがかわいいうちが思いますが。反対に猫は、全然気にしてないぜってフリをしながら、実はかまってちゃんなところがかわいい(笑)」

小柳さんが初めて猫と暮らしたのは小学生のころ。近所で生まれた子猫を引き取って、家族で飼い始めたのだそう。その後、大人になって一人暮らしを始めたときにも猫と一緒にいた。「友人の猫を預かっていたんですが、事情があって、そのまま一緒に暮らすことになりました。私のところに来たときにはすでに年をとっていたけど、22歳くらいまで生きてくれました。長生きさんだったんですよ」

犬との生活を始めてから、驚いたことがあったと話す。「猫との違いというより、猫と似ているところがあって驚きました。私が携帯電話をいじったら牛若丸が寄ってきたので、少しかまった後、またすぐ携帯電話をいじってたんですね。そうした

ら、ヤメてって私の手を止めるようにして。猫ってそういうところあるんですよ。パソコンをさわっているとそばに来たりして。だから、犬も猫みたいなことするんだなあってビックリ。もしかして牛若丸が猫っぽいのか(笑)」

牛若丸と猫との相性を想像すると、「このコがしつこくして嫌われちゃうと思う。きつと引つ掻かれて負けちゃうと思いますね」とのこと。それでも、犬も猫も大好きな小柳さん。いつかは両方に囲まれた生活してみたいそう。

「犬派か猫派かって聞かれたら……、どっちも好きですねえ。一緒に暮らしているとそのコのが好きなわけだから、そうすると今は犬派になるかな? いやいや、と言いつつ猫の動画もけっこう観ちゃう(笑)。やっぱりどっちも派ですね。牛若丸の性格を考えると、猫と一緒に暮らすことは難しいと思いますけど、いつか、犬と猫に囲まれた生活ができれば、それはすごくいいですね。私の理想です」

行動には理由がある 猫と犬の特性を愛して

猫のプロとして、獣医師の早田先生に猫と犬の特性の違いを伺いました。

「猫は単独行動で狩りをしてきた動物。家畜化しても、その特性をすべてなくしたわけじゃありません。いまだ野生を残している部分が猫の魅力だと感じている人は多いでしょう。一方、犬はリーダーを必要とする動物で、人間も犬に絶対服従を要求します。たとえば犬が机の上に乗ったら飼い主さんは怒るでしょう。では、猫が高い場所からぼんと机の上に乗ったらどうでしょう。猫にすれば高い場所はエサを食べたり、眠ったり、安心できる場所だし、上下運動は猫には必要なことです。爪研ぎも大きな特性ですね。爪は猫の一番大事なもののだから、普段は隠して、とても静かに歩きます。これは狩りのための体のつくり。犬は群れでリーダーのもと狩りをしますが、猫の狩りは単独。その違いが体のつくりや行動に表れているんです。交尾の方法や生理のサイクルの違いもそう。猫も犬も、それぞれの特性を理解して、その特性ごと愛してあげてほしい(笑)」



早田由貴子●獣医師、ヤマザキ学園大学非常勤講師。自宅では12頭の猫と3頭の犬と暮らす。

できることから始めよう。

ONE LOVE プロジェクト

今も年間5万頭以上の犬が殺処分されているという現実に対し、1頭でも多くの犬たちの命を救うために、ONE LOVEプロジェクトでは動物保護団体への寄付や飼い主さんへの啓発、保護犬文化向上のための支援に取り組んでいます。

1 PROJECT HOGO犬 ONEマッチング

犬を飼いたい人と、新しい飼い主を待っている犬の縁結びを行う。目指すのは、可哀想な犬をもらってもらうことではなく、日本中に幸せな飼い主さんと犬を増やすこと。



<http://hogo-one.jp/>

5 PROJECT ONE LOVE サポーター

誰でも貢献できる月1,000円からのサポーター制度。保護犬をレスキューする動物保護団体への寄付や啓発支援になる。『ONE BRAND』マガジンやサポーター会報誌を隔月でお届け。



携帯はこちら

2 PROJECT ONE LOVE ACTION!

人と犬の明るい未来を目指して、自分にできることを知り、考え、行動(ACTION)を起こすキッカケづくりのためのワークショップ。犬や動物を取り巻く法律や実情、海外情報も学ぶプログラムを、環境省後援のもと開催している。



6 PROJECT サポートパートナー企業・協力店舗

寄付グッズの製作や、啓発イベントの開催など、サポートパートナー企業を募って長期的でより大きな啓発・支援につながる企画を実施。カフェやショップなど協力店舗も募り、ONE BRANDマガジンの設置配布を通して全国に啓発している。



3 PROJECT ONE LOVE GOODS

売上の一部が動物保護団体への寄付になり、身に付けることで啓発にもなるグッズをWEBサイトで販売中。楽しみながら貢献できるものを使いたい。



4 PROJECT WEBで啓発・支援できるコンテンツもいっぱい

●ONEクリックドネーション

ONEクリックするたびに、10円が協賛企業から寄付される。

●Yahoo!から寄付

ポータルサイトYahoo!で溜まったポイントや、保護犬の壁紙購入費を寄付にできる。

●ONE LOVEインタビュー

著名人の皆さんの、人と犬を想うONE LOVEなメッセージをいつでも読むことができる。

ONE LOVEプロジェクト寄付先動物保護団体

一定の審査を行なった信頼のおける動物保護団体が、長期にわたり活動に専念できるように、定期的な寄付支援をしている。

- NPO法人 ARK (アニマルレフュージ関西) <http://www.arkbark.net/>
- 石川ドッグレスキュー <http://dogrescuejp.net/>
- NPO法人 しっぽのなかま <http://shippononakama.kuronowish.com/>
- ちばわん <http://animal-note.cool.ne.jp/>
- 動物いのちの会いわて <http://www.inochinokai.com/>
- Dog Shelter (ドッグシェルター) <http://dogshelter.jp/>
- NPO法人 日本動物生命尊重の会 <http://www.npo-alis.org/>
- Happy Labs (ハッピーラブズ) <http://www.happylabs.jp/>
- PAK (Paws Adoption かながわ) 保健所の犬・猫を救う会 <http://homepage3.nifty.com/nazozen/>
- NPO法人 ペット里親会 <http://petsatooyakai.web.fc2.com/>
- NPO法人 保健所の成犬・猫の譲渡を推進する会 <http://npo.seiken-joto.org/>
- NPO法人 Wonderful Dogs <http://www.wonderful-dogs.com/>

50音順 2013年2月末現在

寄付金
総額

※2012年12月～2013年1月

1,159,053円

2008年4月22日～
2013年1月末現在の累計
28,208,990円

お問い合わせ

株式会社 ONE BRAND
ONE LOVEプロジェクト事務局



03-5575-2363



<http://onelove.cc/>

ONE LOVE プロジェクト

検索



門松明美さん(左)、たらちゃん(中央)
動物保護活動団体「ドッグシェルター」片岡美奈さん

新しい家族と毎日ハッピー! 性格がわかるから、 はじめて犬を飼うファミリーでも安心です。

「うちで一番のイケメン、自慢の息子です」と紹介されたのは、推定5歳というシェットランドシープドッグの「たらちゃん」。2年前、門松さんファミリーの一員に迎えられ、小学生の二人のお兄ちゃんたちと幸せな毎日を過ごしています。



**犬の性格で
選べるところが、
初心者にはありがたい。**

保護犬たちの様子を紹介するサイト「HOGO犬ONEマッチングサイト」を通じて、保護犬の新しい家族になった門松さんが、「うちにはもったいないくらいの子なんです」と溺愛するたらちゃんは、2年前に保健所で保護された犬でした。新しい飼い主を探すために引き取ったドッグシェルターの片岡さんは、「元の飼い主さんが飼育放棄で持ち込んだそうです。当時は飼い主さんと離ればなれになって、少し情緒不安定でしたね。ただ、元々穏やかな性格のようで、この子ならどんなご家庭でもやっていけるなと思いました」と教えてくれました。

性格をしたこの子なら大丈夫だろうと、縁組みは成立。ずっと犬を飼いたかった門松さんは、当時まだ小学4年生と幼稚園の年長さんだった息子さんたちが、怯えないような穏やかな犬を探していたそうです。そのうちHOGO犬ONEマッチングサイトも見始めて、「頭すつ詳しく性格が紹介されていて、『この子ならうちでも飼えるかも』と思うたのが、たらちゃんでした。犬の性格があらかじめわかるのは、私たちがみたいな初心者にとっては安心ですね」と、この出会いにとっても満足されているご様子です。

新しい家族の 「三男坊」として、 すっかりリラックス。

朝の散歩は、最初の約束を守って今も兄弟が交代で行っているそうです。

「サボリたそうにしているときは、『じゃあママがお世話するから、可愛がるのもママだけね』って言うって『行く…!』って(笑)」

年に1〜2回の家族旅行は、たらちゃんと一緒にキャンプに出かけるそう。写真からもご家族の楽しそうな様子が伝わってきますね。

2年が経って少し太ったたらちゃんですが、性格面でも少しワガママを覚えたようです。かまってほしくてワザと鉛筆や消しゴムをカジってみたり、兄弟と一緒に騒いだり。三男坊らしく、いい事も悪い事もお兄ちゃんたちから教わっているのかも知れません。

「今のたらちゃんは、ほんとに自然体。不安感は全然みえないですから」と片岡さん。

そして今、門松さんがたらちゃんに望むことはひとつだけ。「長生きしてほしい。子どもたちも『ずつとずつと一緒だからね!』って言うてます」

愛情たっぷりの素敵な家族に出会えて、たらちゃんもとても嬉しそう。これからは、パパとママ、そして二人のお兄ちゃんと一緒に、いつまでも幸せに過ごしてほしいですね。



日本中に幸せな犬と飼い主さんを増やすマッチング WEBサイト



現在も180頭以上の保護犬たちが、新しい飼い主さんを待っています。

ほごわん 検索 <http://hogo-one.jp/>

新企画

保護犬に迷子札を贈る支援がこの春はじまる!!

ONE LOVEプロジェクトを支えるサポーター会費が保護犬へ贈る迷子札として形になる支援が、この春はじまります。HOGO犬ONEマッチングサイトを通じて新しい家族を見つけた保護犬たち1頭1頭に、啓発につながるONE LOVE迷子札を作り、贈るシステムです。



※ONE LOVEプロジェクト寄付先の動物保護団体から引き取られた保護犬が対象となります。

ONE BRAND vol. **44**